

【牛久保公園】

港北NTの開発によりできた公園。公園は二つに分れ、東側の公園は見晴らしの良い高台。

***牛久保:地名研究で「クホ」は窪地を指し、「牛」は窪地の縁、または臼のような窪地を表すと考えられる。

中川:諸村の中心を形成する早淵川や流入する小川から名付けられたという。昭和14年横浜市編入の際、中川村大柵を中川町・大柵町に分け、役場や小学校のある方を中川としたが、何かの手違いで逆になり、中川小学校や中学校は大柵町にある。

【都筑区の最高地点】

牛久保配水地付近は海拔高度が65mあり、区内で最も高い場所。遠くMM地区の高層ビルも望める。

***配水池:浄水場で作られた飲み水を各家庭に配水する施設。災害時には市民の約1週間分の飲み水を確保。牛久保配水地の有効貯水量は30,000m³。

【山田富士公園・横浜国際プール】

「山田富士」は、「新編武蔵風土記」(文政11年 - 1828年)に登場する古い歴史をもち、現在は公園として整備、富士山の形をした富士塚が象徴的。桜の名所にも。北側には、横浜国際プールがある。

***横浜国際プール・メインプール:50m×25mの国際公認プール。可動床を採用、深さが0mから3.5mまで変更できる。冬季にはスポーツフロア。観客席は約4000席。

【鎌田堂・道中坂】

堂の背後に頼朝の家臣、鎌田兵衛正清の館があったため 鎌田堂と云う。江戸時代までは念仏道場として繁栄し、堂の前の坂を道場坂として名を残したが、現在では道中坂に変化した。

【のちめ不動】

碑文に寄れば文久2年(1864年)に「のちめ」の住人が、八王子からこの場所へ不動尊像を背負ってやって来たとあり。「のちめ」と言うのは地名のようで、二注連谷(にしめやと)をノッチメともいうことからか。